

作成日：2012年04月01日
 改訂日：2021年09月01日

安 全 デ ー タ シ ー ト

1. 製品及び会社情報

製 品 名：ショーボンド SBソフトシール
 会 社 名：ショーボンドマテリアル株式会社
 住 所：埼玉県川越市芳野台2-8-10
 担 当 部 門：品質保証課
 電 話 番 号：049(225)5611 F A X : 049(225)5616
 緊急連絡先：品質保証課 電 話 番 号：049(225)5611
 整 理 番 号：SBソフトシールー02

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	: 引火性液体	分類対象外
健康に関する有害性	: 急性毒性（経口） 急性毒性（経皮） 急性毒性（吸入：ガス） 急性毒性（吸入：蒸気） 急性毒性（吸入：粉じん、ミスト） 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性（単回暴露） 特定標的臓器・全身毒性（反復暴露） 吸引性呼吸器有害性	区分5 分類できない 分類対象外 分類できない 分類できない 区分外 区分外 分類できない 分類できない 区分外 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない
環境に対する有害性	: 水性環境急性有害性 水性環境慢性有害性	区分外 区分外

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル	: なし
注意喚起語	: 警告
危険有害性情報	: 飲み込むと有害の恐れ
注意書き	
予 防 策	: 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。 屋外または換気の良い場所で使用すること。 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。 取り扱い後はよく手を洗うこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 環境への放出を避けること。 取り扱い前に、必ず「製品安全データシート」を読んで、注意して取り扱ってください。
対 応	: 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。

汚染された衣類は直ちに脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。

下記の場合は直ちに医師の診断／手当を受けて下さい。

目に入った場合、飲み込んだ場合、皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合、暴露または暴露の懸念がある場合。

漏出物は回収すること。

保管：直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。

廃棄：内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託し廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名 (成分)	化 審 法	CAS No.	濃度又は 濃度範囲 (含有量%)	P R T R 法	労働安全衛生法 通知物質 57 条 2
有機スズ化合物	既存製品	社外秘	2 未満	第1種No.239	政令番号 322

4. 応急措置

- 目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄をつづけること。直ちに眼科医の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激、または、発疹が生じた場合は、医師の診断を受ける。
- 吸入した場合：直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させた後、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合：直ちに水で口をすすぎ、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤：粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂。
- 使ってはならない消火剤：特になし。
- 特有の消火方法：可燃性のものを周囲から取り除く。
消火活動は風上から消火する。
高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。
- 消火を行う者の保護：消火作業の際は、必ず耐熱性着衣などを着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離すること。関係者以外の立ち入りを禁止すること。作業者は適切な保護具（手袋、保護眼鏡等）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避けること。風上に留まること。低地から離れること。
- 環境に対する注意事項：河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

- 回収・中和 : 大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。
: 土砂等（の不燃物）で囲みビニールシート等でおおい、蒸気の発生を抑えながら回収する。
- 封じ込み及び浄化の方法・機材 : 拡散を防止し、流出物をすくい取るか、又は、ウェス等を使用して空容器に回収する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除き、火災の発生を防ぐ。着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
関係箇所に通報し応援を求める。

7. 取り扱い及び保管上の注意

使用前にショーボンドマテリアルホームページ「樹脂製品の取り扱いについて」
「樹脂製品を安全にご利用いただくために」を必ず参照すること。
ホームページアドレス:<https://www.sb-material.co.jp/resin/download.html>
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

- 取扱い :
- 技術的対策 : [8. ばく露防止及び保護措置]に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。
- 局所排気・全体換気 : [8. ばく露防止及び保護措置]に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。
- 安全な取扱い注意事項 : 取扱い後は手、顔などを良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。
換気の良い場所で取り扱う。
指定された以外の材料と混合しないこと。
周囲で火気、スパーク、高温体の使用を禁止する。
容器はその都度密閉する。
使用済ウェス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておくこと。
- 接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 保管 :
- 技術的対策 : 保管場所には危険物を貯蔵し、取り扱うために必要な採光、照明及び換気
の設備を設けること。
- 保管条件 : 日光の直射を避けること。
容器を密閉して換気の良いところで保管すること。
- 混触禁止物質 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 容器包装材料 : 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 換気の悪い場所では局所排気装置等の排気のための装置を設置する。
取扱い場所の近くには、洗顔、身体洗浄のための設備を設ける。
- 許容濃度 :
- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : 設定されていない。
- 保護具 :
- 呼吸器の保護具 : 必要な個人用保護機器を使用すること。
- 手の保護具 : 保護手袋
- 目の保護具 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 化学薬品が浸透しにくい作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状等	: ペースト
色	: 白色
臭い	: 特異臭
pH	: データなし
密度 (比重/相対密度)	: 1.17g/cm ³
融点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: 200°C以上
自然発火性	: データなし
燃焼または爆発範囲	: データなし
蒸気密度	: データなし
溶解性	: 水に難溶
オクタノール/水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取り扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 水と反応すると増粘する。
避けるべき条件	: 高温多湿な場所での保管。
混触危険物質	: 情報なし。
危険有害な分解生成物	: データなし。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	: 区分5 飲み込むと有害の恐れ 成分情報: 有機スズ化合物 LD50 >2000mg/kg
	経皮	: 分類できない
	吸入	: 分類対象外
皮膚腐食性・刺激性		: 区分外 成分情報: 有機スズ化合物[区分2]
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性		: 区分外 成分情報: 有機スズ化合物[区分2A]
呼吸器感作性		: 分類できない
皮膚感作性		: 分類できない
生殖細胞変異原性		: 区分外
発がん性		: 分類できない
生殖毒性		: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露)		: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復暴露)		: 分類できない
吸引性呼吸器有害性		: 分類できない

12. 環境影響情報

水性環境急性有害性	: 区分外 成分情報: 有機スズ化合物[区分2]
水性環境慢性有害性	: 区分外 成分情報: 有機スズ化合物[区分2]

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物（廃液と廃プラスチック類の混合物）として許可を受けた専門業者に委託する。
 乾燥し固形状になったものは、廃プラスチック類として同様に処理する。
 容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に処分する。
 容器、機械装置等を洗浄した排液等を、地面や排水溝へ流さないこと。

1 4. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。

海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

国連分類：分類基準に該当しない

国連番号：分類基準に該当しない

1 5. 適用法令

消防法：指定可燃物 合成樹脂類（その他のもの）

毒物及び劇物取締法：該当しない

労働安全衛生法

57条の2（通知対象物）：有機スズ化合物（政令番号322）

危険物：該当しない

有機則：該当しない

施行令第18条 名称を表示すべき有害物：該当なし

化学物質排出把握管理促進法：該当なし

化審法：該当なし

1 6. その他の情報

注意事項：本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえませんので取扱いには充分注意して下さい。
新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。
本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

- 1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場の表示及び安全データシート(SDS)：JIS Z 7253：2012)
- 2) 製品安全データシートの作成指針 平成18年5月(社団法人 日本化学工業協会)
- 3) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 4) 原材料/製品メーカーSDS